

生活クラブ生協で1993年に生まれた“日本最初の市民ファンド”。市民の皆さまからのご寄付でNPOなどの社会的な活動を支援しています。過去20年間に159の団体へ6200万円の助成を行ない、都内とアジアで活動する市民団体を支えてきました。

草の根交流集会2015 ご案内

— 市民のお金が社会を変える —

日時：8月1日(土) 13:30～17:00 ★ 参加費無料、どなたでもご参加できます ★

場所：生活クラブ館地下スペース (世田谷区宮坂3-13-13/小田急線経堂駅 徒歩3分)

♪ 以下の団体の活動報告、さまざまな団体とのトーク、交流を行ないます

アジア草の根助成

- NPO法人てのひら 人身売買に立ち向かう会
困難な状況にある日タイ国際児、中でも母親と共に帰国し北タイで暮らす子どもを対象にしたワークショップを実施。
- NPO法人イランの障害者を支援するミントの会
イランの在宅障害者を対象に、日本で障害を負ったイランの方と専門家が中心となって日本型支援の知識を届ける。



てのひら 人身売買に立ち向かう会



ぐらんを支える、寄付者の皆さま

都内草の根助成

- 地域生活定着支援事業 ヒゲの会
刑務所出所者など地域で生活を安定させることが困難な方を対象に、就労トレーニングとして廃品回収事業を実施。
- NPO法人 ReBit
LGBT(性的マイノリティ)への教育現場の理解を進めるため、都内の教職員向けのパンフレットを作成し啓蒙活動を行う。
- グリーフサポートせたがや
さまざまなグリーフ(死別などの喪失体験に対する心身の反応)を抱えた人を支援するサポートプログラムを行なう。
- 患医ねっと
患者自身が医療との関わり方を学び、より良い医療を受ける、患者中心の地域コミュニティ「ペイシェントサロン」を主催。
- NPO法人 東京多摩いのちの電話
孤独や精神的な危機にある人たちの声に、相談員が無料で耳を傾ける「いのちの電話」活動を多摩地域で続けている。
- 福島と立川の子どもたちの会
福島の原子力発電所の事故による放射能汚染の不安から離れて、東京都立川市で子どもたちと親が外遊びをする保養事業。
- CCS世界の子どもたちと手をつなぐ学生の会
外国にルーツを持つ子どもたちの、高校進学とその前後さまざまなサポートを、日本の大学生が都内6教室で20年に渡って行っている。



◆お申込み・お問い合わせ

草の根市民基金・ぐらん事務局 (認定NPOまちぼつと内)
電話: 03-5941-7948 メール: info@machi-pot.org